



前号（119号）では、

「外に学び、つくり直す」と題して、

ヨーロッパ各国を訪ね、日本が抱える問題解決への実践のあり方について考えました。

その取り組みは、昨年来、本誌が取り組んできた

「ルネッセ（再起動）」の実践編のスタートでもありました。

さて今号では、アジアを取り上げます。

「創新」しつづける中国の実験都市・深圳しんぜんと

「知的経済都市」シンガポール。

日本とは地理的歴史的にも近い、

これらアジアの人びととの対話を通して、

新たな価値創造への取り組みを考えます。